

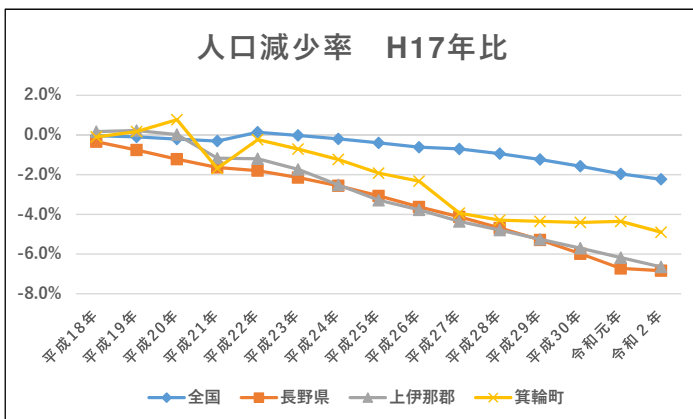
箕輪町の子ども・子育て支援の状況について

2023.6.26 子ども・子育て審議会への意見聴取
企画振興課・子ども未来課

人口、出生数の推移と比較

R5.4.17 企画振興課作成

「長野県衛生年報」参照（全国、長野県、上伊那郡、箕輪町）



■全国に比べ、長野県・上伊那郡は人口減少率大きい
→H17→R2 全国 ▲2.2%(2,816千人)
長野県 ▲6.8% (148千人)

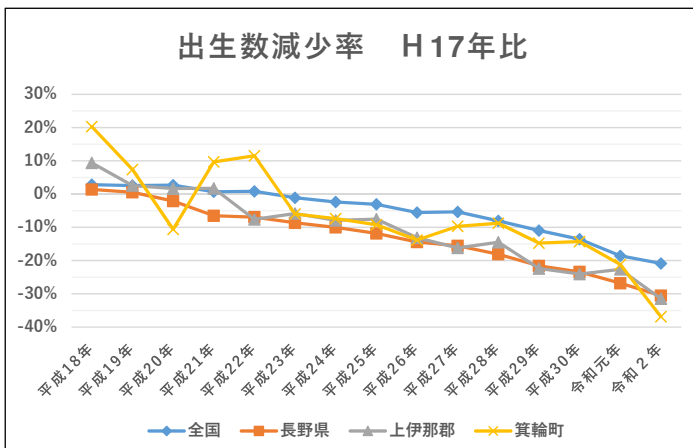
■箕輪町は長野県と同じような減少率になっている
→H17→R2 箕輪町 ▲4.9%(1,287人)

■箕輪町は全国よりは減少率は大きい、長野県よりは減少率は緩やかである

◆人口減少率2～5%と比べ、出生数減少率は21～37%と大きい

◆出生数の増加が他自治体との「違い」を表現しやすいか

↑ 第4次振興計画が始まった平成17年の数値を100としたときの増減率の推移である。↑



■全国に比べ、長野県・上伊那郡は出生数減少率大きい
→H17→R2 全国 ▲21%(222千人)
長野県 ▲31%(5,653人)

■箕輪町は長野県と同じような減少率になっているが、R2が大きく落ち込んだ
→H17→R2 箕輪町 ▲37%(80人)

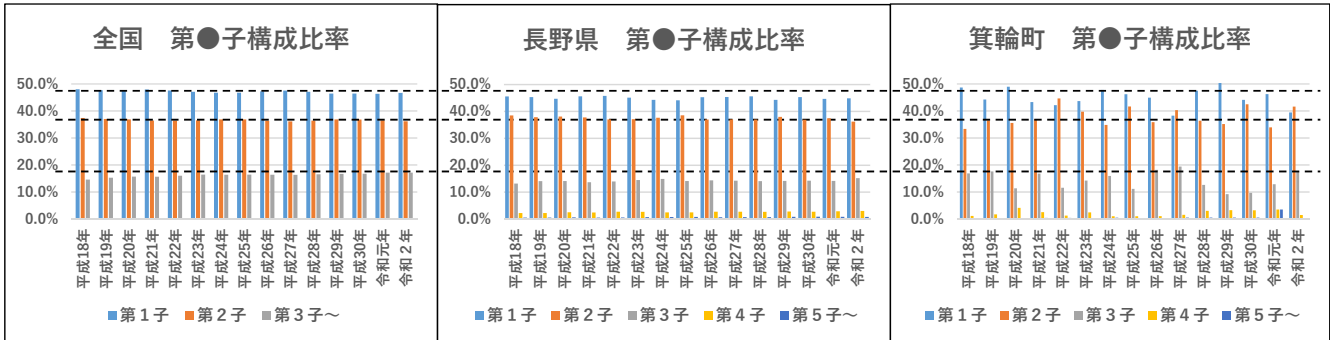
■箕輪町は数値母数が少ないので年によって変動はあるが全国的な出生数の傾向と概ね同じである

出生数(第●子)構成比の推移と比較

R5.4.17 企画振興課作成

厚生労働省「人口動態調査」参照(全国)
「長野県衛生年報」参照(長野県、箕輪町)

各年度の出生児の構成比率



■全国の構成比率は第1子、第2子は15年同じ傾向だが、第3子以上の割合が若干上がっている
→ H17→R2 第3子14.6%→17.2%

■長野県の構成比率は全国と比べ第1子の割合が下回っている。第2子の割合は同じため、第3子以上が全国より高い
→ R2 第1子 全国 46.7%
長野県 44.9%

■箕輪町の構成比率は全国・長野県と比べ第1子の割合が下回っている。第2子・第3子の割合は全国・長野県より高い

→ R2 第1子 全国 46.7%
長野県 44.9%
箕輪町 39.4%

→ R2 第2子 全国 36.2%
長野県 36.2%
箕輪町 41.6%

→ R2 第3子～全国 17.2%
長野県 18.9%
箕輪町 19.0%

◆長野県と箕輪町は第3子以上の割合が全国と比べ高い

◆長野県と比べると箕輪町は第2子以降の割合が高い

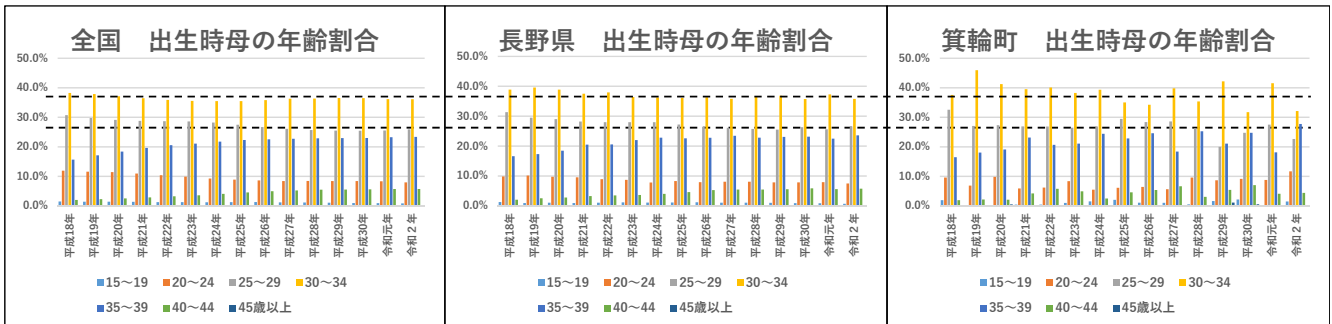
<箕輪町は複数子がいる家庭が多い傾向にある>

出生時母の年齢割合の推移と比較

R5.4.17 企画振興課作成

厚生労働省「人口動態調査」参照(全国)
「長野県衛生年報」参照(長野県、箕輪町)

各年度の出生時の母の年齢割合



■全国の構成比率 ※R2
第1位 30～34歳 36.1%
第2位 25～29歳 25.9%
第3位 35～39歳 23.3%
第4位 20～24歳 7.9%
第5位 40～44歳 5.7%

■長野県の構成比率 ※R2
第1位 30～34歳 35.8%
第2位 25～29歳 26.6%
第3位 35～39歳 23.6%
第4位 20～24歳 7.5%
第5位 40～44歳 5.8%
→全国の傾向と概ね同じ

■箕輪町の構成比率 ※R2
第1位 30～34歳 32.1%
第2位 35～39歳 27.7%
第3位 25～29歳 22.6%
第4位 20～24歳 11.7%
第5位 40～44歳 4.4%
→箕輪町は全国・長野県と比べ、35～39歳の割合が高い
→20～24歳の割合も高い

◆全国的な傾向として35～39歳の割合が増加している

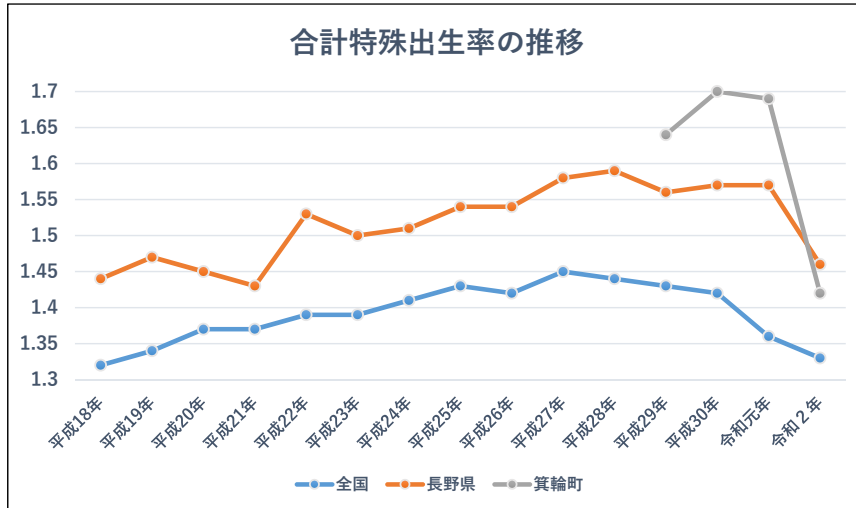
◆年代層20代、30代での母の年齢

20代 全国(33.8%)、長野県(34.1%)、箕輪町(34.3%)
30代 全国(59.4%)、長野県(59.4%)、箕輪町(59.8%)

→年代層で見ると同じ傾向にある

合計特殊出生率推移

R5.4.24 企画振興課作成
 「長野県衛生年報参照」(全国、長野県)
 箕輪町は独自算出



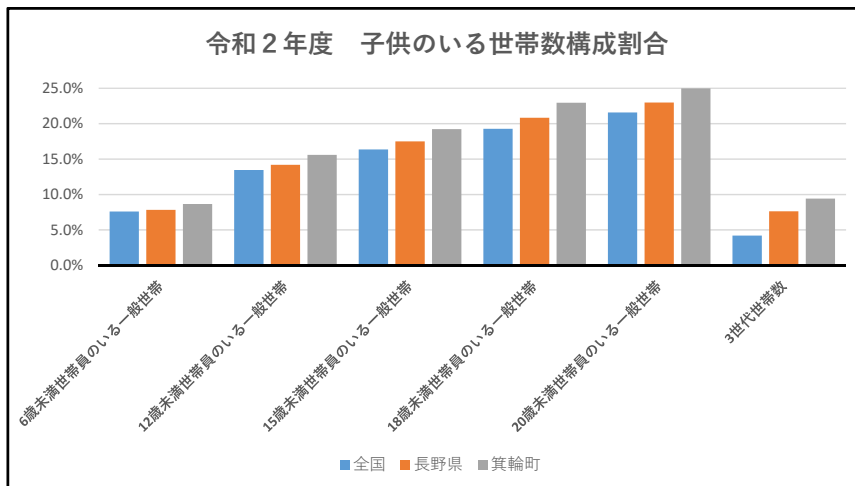
年度	全国	長野県	箕輪町
平成18年	1.32	1.44	
平成19年	1.34	1.47	
平成20年	1.37	1.45	
平成21年	1.37	1.43	
平成22年	1.39	1.53	
平成23年	1.39	1.5	
平成24年	1.41	1.51	
平成25年	1.43	1.54	
平成26年	1.42	1.54	
平成27年	1.45	1.58	
平成28年	1.44	1.59	
平成29年	1.43	1.56	1.64
平成30年	1.42	1.57	1.7
令和元年	1.36	1.57	1.69
令和2年	1.33	1.46	1.42
令和3年	-	-	1.7

- 長野県は全国と比べ合計特殊出生率は0.1以上高い傾向にある
- 箕輪町は令和2年に長野県を下回ったものの、令和3年には1.7に回復している

子どものいる世帯数の構成割合

R5.4.24 企画振興課作成

令和2年度国勢調査
 「第9-1表 世帯の家族類型、世帯員の年齢による世帯の種類別一般世帯数及び3世代世帯数-全国、都道府県、市区町村」参照



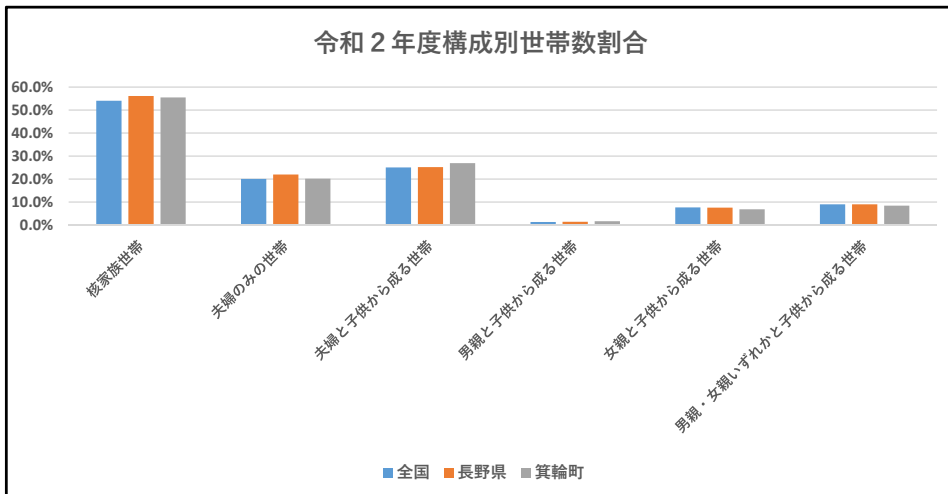
	6歳未満世帯員のいる一般世帯	12歳未満世帯員のいる一般世帯	15歳未満世帯員のいる一般世帯	18歳未満世帯員のいる一般世帯	20歳未満世帯員のいる一般世帯	3世代世帯数
全国	7.6%	13.4%	16.3%	19.3%	21.6%	4.2%
長野県	7.8%	14.2%	17.5%	20.8%	23.0%	7.6%
箕輪町	8.6%	15.6%	19.2%	23.0%	25.0%	9.4%

■数値は全世帯数に対する対象世帯の割合である

- 箕輪町は子供のいる世帯の割合が全国・長野県と比べ高い
- 3世代世帯数も割合が高い

令和2年度国勢調査

「第9-1表 世帯の家族類型、世帯員の年齢による世帯の種類別一般世帯数及び3世代世帯数-全国、都道府県、市区町村」参照



総務省統計局HP参照
 2B-Q02 核家族世帯の数
 総務省統計局が5年ごとに10月1日現在で実施している「国勢調査」により、核家族の世帯数を昭和45年調査から調べることができます。核家族世帯を「夫婦のみの世帯」、「夫婦と子供から成る世帯」、「父親と子供から成る世帯」、「母親と子供から成る世帯」に区分しており、それぞれの世帯数を調べることができます。

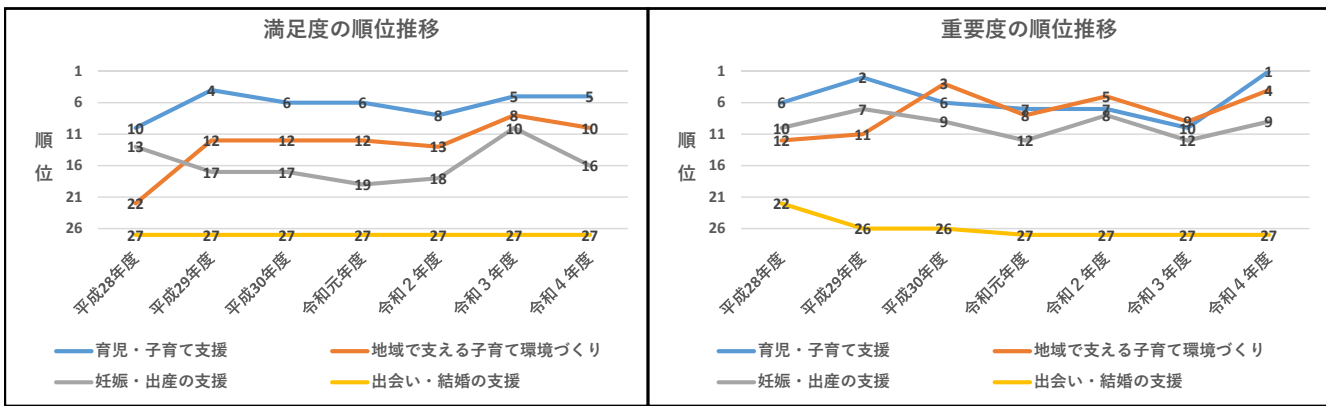
	核家族世帯	夫婦のみの世帯	夫婦と子供から成る世帯	父親と子供から成る世帯	母親と子供から成る世帯	父親・母親いずれかと子供から成る世帯
全国	54.1%	20.0%	25.0%	1.3%	7.7%	9.0%
長野県	56.1%	22.0%	25.2%	1.4%	7.6%	9.0%
箕輪町	55.5%	20.1%	26.9%	1.6%	6.8%	8.4%

■数値は全世帯数に対する対象世帯の割合である

■核家族の構成状況は全国の状況と同じ傾向にある

箕輪町住民満足度調査の関係項目の推移

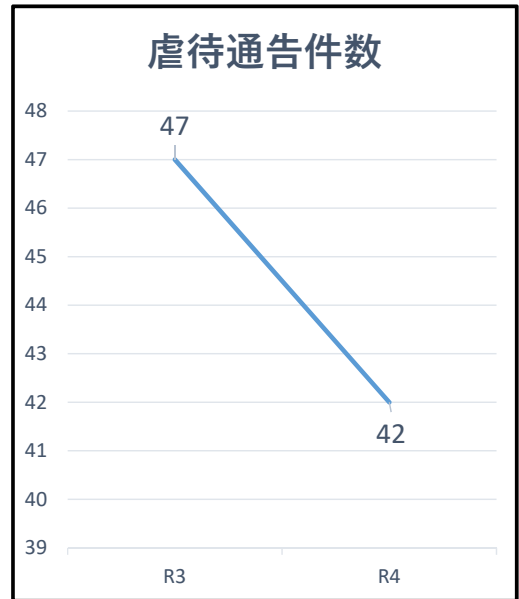
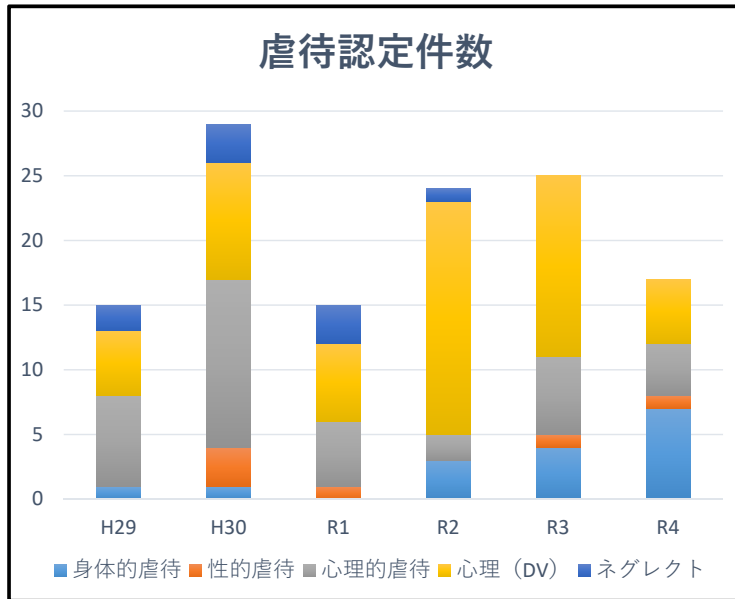
第5次振興計画に基づく取組1～26の中で子育てに関連する4項目について、「満足度」と「重要度」の推移



■育児・子育て支援は上位で推移している

■育児・子育て支援の重要度の順位が上がってきている

■育児・子育て、環境づくり、妊娠・出産に関する3項目は、満足度が重要度より低い順位となっている

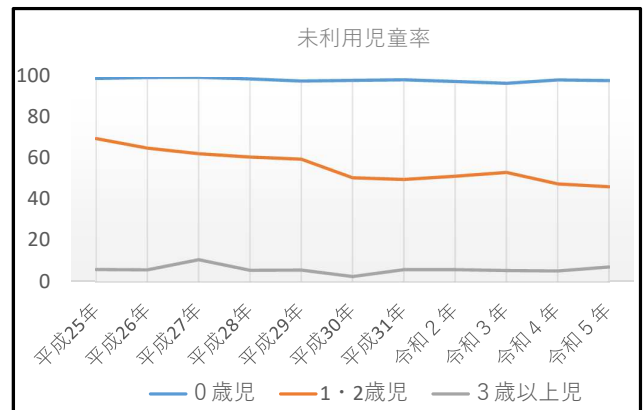
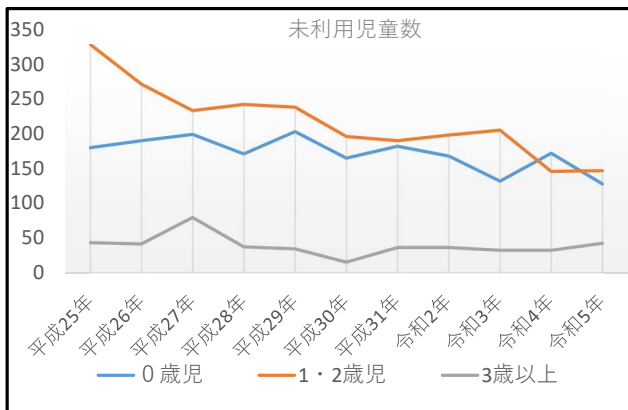


年度	身体的虐待	性的虐待	心理的虐待	心理 (DV)	ネグレクト	合計
平成29年度	1	0	7	5	2	15
平成30年度	1	3	13	9	3	29
令和元年度	0	1	5	6	3	15
令和2年度	3	0	2	18	1	24
令和3年度	4	1	6	14	0	25
令和4年度	7	1	4	5	0	17

■心理 (DV) が多い
■身体的虐待が増えてきている

保育園の未利用児童数・率の推移

各年4月1日



未利用児童数

単位：人

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
0歳児	179	189	198	170	202	164	181	167	131	171	127
1・2歳児	327	270	232	241	237	195	189	197	204	145	146
3歳以上児	43	41	79	37	34	15	36	36	32	32	42

■1・2歳児は減少傾向にある。
■0歳児・3歳以上児はほぼ横ばい傾向にある。

未利用児童率

単位：%

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
0歳児	97.8	98.4	98.5	97.7	96.7	97.0	97.3	96.5	95.6	97.2	96.9
1・2歳児	69.0	64.4	61.7	60.1	59.1	50.1	49.3	50.9	52.7	47.2	45.8
3歳以上児	6.0	5.8	10.7	5.6	5.7	2.6	5.9	5.9	5.5	5.3	7.2